

+.....+

【ケアプロ通信vol.105】

6月度ニュース:高齢者や障害者のコロナワクチン接種会場までの付き添いスタート

+.....+

いつも大変お世話になっております。
ケアプロ広報担当です。

雨の日は肌寒く感じたり、晴れの日には暑かったりと、
気温や湿度の変化が大きい時期ですが
みなさま体調など崩されておられませんか。

梅雨の時期は、気候の変化に加え、気圧の変化もあり、
わたしたちの身体は疲れやだるさを感じやすくなるそうです。

しっかり朝食をとって、夏に向けて健康管理をしていきましょう。

早いもので今年も折り返し地点です。
忙しい毎日をお過ごしかと思いますが、心と身体の声に耳を傾けて
無理をせず元気にお過ごしください。

それでは6月度のニュースをお届けいたします。

+.....I N D E X.....+

【1】代表 川添高志

「小児訪問看護・介護HUGの流儀」

【2】 予防医療事業部

「予防と交通の初コラボで、初の抗原検査を実施」

【3】 在宅医療事業部

1)今年も暑い季節がやってきました

2)ホームケアラボ:診療看護師が企画する研修会を開始します！

【4】 交通医療事業部

1)高齢者や障害者のコロナワクチン接種会場までの付き添いスタート

2)ブラインドサッカーの国際大会は、無事に感染者ゼロでした

+.....+

+.....代表 川添 高志からのメッセージ.....+

「小児訪問看護・介護HUGの流儀」

杉並区の小児専門の訪問看護・介護を運営するHUGの経営に関わらせていただくことになり、一ヶ月が経ちました。

今日も、終日、高円寺のHUG事務所ですが、事務所の管理人と顔の見える関係になり、事務所のコーヒーマシンの使い方も教えて頂きました。

看護や介護、PT、OT、ST、事務の皆さんと面談を進め、まずは自己紹介を中心にお互いの理解を深める中で、小児領域の醍醐味と大変さを聴かせていただいています。

- ・全てのご家庭で、子育てを一生懸命やっつけらっしゃる
- ・この子はわかっている、見えている、聞こえている、感じている
- ・絶対に成長していく。その子なりの成長がある
- ・会話が難しいお子さんが喜びをキスで表現してくれる
- ・子供のために3時間おきに起きてケアするお母さんを支えたい
- ・スタッフも大変だが、良い仲間を支え合っている

そして、「大変なところほど、醍醐味である」という言葉がありました。まだまだ、ニーズが増え、変化し続ける小児分野において、HUGの流儀を大切に、一步一步、大切に取り組んでいきます。

写真: お子さんにプレゼントしている手作り干支人形



+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

「予防と交通の初コラボで、初の抗原検査を実施」

5月30日～6月6日まで、ブラインドサッカー協会による
国際ブラインドサッカー大会が行われました。
(Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川)
交通医療事業部と予防医療事業がタッグを組み、
安心安全に試合が実施されるために抗原検査を実施いたしました。

4月21日にプレスリリースを出したとおり、交通医療事業部では
ブラインドサッカー協会と応急救護や感染対策において提携いたしました。

そして今回、日本で国際大会を実施することが決まりました。
安全に大会が開催されるためには、選手及び大会関係者全員に
新型コロナウイルスを持った人がいないか、確認をする必要があります。
そこで「検査のことなら予防医療事業部だね。」とお声をかけていただきました。

新型コロナウイルスに現在かかっているか調べるためには、抗原検査の導入が必要でした。
イベント実績数の多い予防のノウハウを活かして、さらには抗体検査の
導入実績を活かして急ピッチで抗原検査の導入を進めていきました。
(※抗体検査:新型コロナウイルスに過去にかかったかどうか分かる検査)

迎えた大会期間中、選手のコンディションに寄り添いながら、
イレギュラー対応にも柔軟に応じながら決められた検査数を実施し、
トータル検査数は746回にものぼりました。
無事に大会期間中の検査・運營業務を完了することができました。

今回、交通医療事業部と協力し、業務を遂行することで、迅速な成果につなげることができまし
た。
今後も事業部間を超えて連携をとり、力を合わせて様々な成果につなげていきたいと思いを。



+……………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

1)今年も暑い季節がやってきました

訪問看護は天候の影響をダイレクトに受けますので、暑さ対策も重要になってきます。

今年は4月中旬より25℃超えの日を記録し、5月も暑い日が続いたため、両ステーションクラークからの提案で、例年より早い5月末より、スポーツドリンクの購入と、新人職員への冷感タオルの配布を開始しました！

現場スタッフの働きやすい環境を事務部門が考え提案できることも、ケアプロの強みです！

2)ホームケアラボ:診療看護師が企画する研修会を開始します！

ケアプロでは、「仲間とともに、訪問看護の実践を話し合い、意味付け、深める場」として、2017年よりホームケアラボを発足し、この度、この活動の一環として、診療看護師が行う研修会を企画しましたのでご紹介させていただきます！

訪問看護では、訪問先で状態変化があった際に、迅速に観察・アセスメントし、適切に対処する臨床推論のスキルが求められますが、それらは独学で学ぶには極めて困難であり、それらを学べる環境はまだ十分に整っているとは言えません。

そのような背景をふまえて、組織内外問わず、全ての訪問看護師に学べる場づくりをすることを目的とした講座を企画しました！今回の内容は、「腹痛に自信をもって対応しよう！」についてです。

初めての企画なので、人数制限を設け、またアーカイブ視聴設定もしていますので、是非ご興味をもっていただけますと幸いです。詳細はこちらから → <https://peatix.com/event/1924032>



+……………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ……………+

1)高齢者や障害者のコロナワクチン接種会場までの付き添いスタート



ドコケアでは、新型コロナウイルスワクチン接種の会場まで付き添いを行う取り組みをスタートしました。

高齢者や障害者等で、会場までの介助や道案内等が必要な方に活用していただくことを想定しています。

詳細は[こちら](#)

2)ブラインドサッカーの国際大会は、無事に感染者ゼロでした



約10日間のバブル方式(会場やホテルのみに行動制限)によるブラインドサッカーの国際大会は、無事に感染者ゼロで終了しました。

そして、日本は、惜しくも世界ランキング一位のアルゼンチンに負けたものの、見事、二位となりました！

東京オリンピック・パラリンピックに限らず、今後の国際イベントにおいて、どのような対応であれば、感染リスクを抑えることができ、開催してよいのか、判断していかなければなりません。

「開催しない段階」から「条件付きで開催する段階」になる中で、その条件と条件を守る方法について、建設的な議論と共有が必要です。

※実際の救護や検査の様子は[こちら](#)

※大会運営サポートの概要は[こちら](#)